

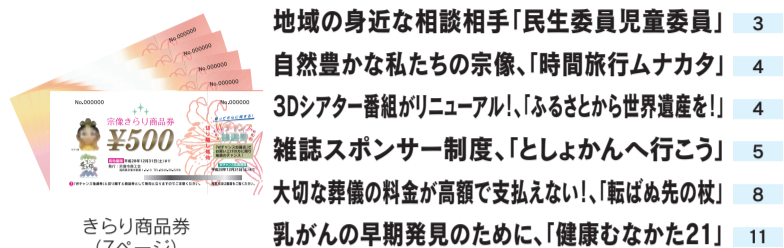
広報むなかた むなかた タウンプレス

宗像市公式ホームページ
http://www.city.munakata.lg.jp/
宗像市公式フェイスブック
https://www.facebook.com/munakata.city
メールアドレス
koho@city.munakata.fukuoka.jp

発行: 宗像市
〒811-3492 福岡県宗像市東郷1-1-1
代表: 総務課
☎0940-36-1121 FAX 0940-37-1242
編集: 秘書政策課広報報道担当
☎0940-36-1055 FAX 0940-37-1242

毎月1日・15日発行 平成28年5月15日号

今月の紙面から	
平成28年度 国民健康保険税率改定	2
「障害者差別解消法」が施行されました	6
男女共同参画事業・講演会、「メッセージ」	9



地域の身近な相談相手「民生委員児童委員」	3
自然豊かな私たちの宗像、「時間旅行ムナカタ」	4
3Dシアター番組がリニューアル!、「ふるさとから世界遺産を!」	4
雑誌スポンサー制度、「としょかんへ行こう」	5
大切な葬儀の料金が高額で支払えない!、「転ばぬ先の杖」	8
乳がんの早期発見のために、「健康むなかた21」	11

1~3	4・5	4~11	12
行政	学びの里	お知らせ	カレンダー



高床式での農作業風景(イメージ写真)

全国初「団地の農場」日の里ファーム

URでは、「多様な世代が生きて暮らす」という理念を掲げ、団地内に全国初の本格的な農業施設を整備しました。この施設は土の代わりに砂を用い、腰をかがめずに作業ができる高床式砂栽培を採用。特別な農具や機材が不要なため、子どもから高齢者まで安全で安心して農作業ができます。野菜づくりを通して、団地に住む高齢者や若い世代、子どもたちの交流や住人同士のつながりを深めてもらいます。

- ### 今後の取り組み
- ▽野菜の栽培見学・体験会の開催
 - ▽栽培参加員組織委員会募集
 - ▽収穫野菜を使った料理教室
 - ▽朝市(5月下旬頃予定)
 - ▽オープニングイベント(6月中旬)



真砂さん(右)と久良木重則さん

元気いっぱい シルバー農園

シルバー農園は、市が平成13~18年度にかけて、遊休地や休耕地を整備し、市内5カ所(東郷、自由ヶ丘、南郷、日の里、河東、赤間西、赤間)に

●東郷地区シルバー農園利用者の声

真砂泰夫さん(80歳) 同地区のシルバー農園が開始した当初から参加

設置。農園で野菜づくりを楽しんでいる人たちが訪ねました。

「15年間続けています。最初は、「一生懸命にがんばらなきゃ」という気持ちでしたが、今は天気が良いと自然と畑に足が向かい、フットワークが軽くなりました。空気が軽くなり、もくもくと畑作業をするのも気持ちよく、大地のエネルギーをもらっています。野菜は子どもと同じで、まめに追肥するなど愛情を持って育てると応えてくれ、収穫したときには満足感があります。遠くに住む孫などに野菜を送ったり、地区の文化祭で、自作の野菜を使用した豚汁を地区の人たちに喜んで食べてもらっていることがとてもうれしいです。」

人との交流の場 新しい生きがい

農園を利用している人々から、「毎日、農園に足を運んでいます」「野菜の成長を見るのが楽しみです」。そして、そこに行けば「誰かと話ができるのでうれしい」といった声がかげられました。農園を通して、人と人との交流が生まれ、新たな生きがいや活力を得られているようです。農を通して、各地で生きがいづくりの場が広がることを期待されます。



食と農を通して生きがいづくり

家庭や農園で野菜づくりを楽しむ人が増えています。シルバー農園は、健康と生きがいづくりの場として、市が整備を始めてすでに10年。そして、この春、新たな取り組みとして、UR(独立行政法人都市再生機構)が日の里団地内に農業施設を整備しました。農を通して生きがいづくりの場が広がります。

■問い合わせ先
日の里ファームについて 秘書政策課定住化推進担当 ☎(36)1284
シルバー農園について 高齢者支援課 ☎(36)9288

たにいブログ・フォト日記

市HP <http://www.city.munakata.lg.jp/>でも、市長ブログを紹介しています。

■問い合わせ先
秘書政策課秘書担当 ☎(36)0890



音楽の楽しさを知った子どもたち

3月29日、ユリックスジュニアプラス卒団演奏会に行ってきました。このジュニアプラスは、2年前、宗像ユリックスに本拠を置く九州管楽合奏団の団員のみなさんの提案で、小学校の使っていないトランペットやトロンボーンなど管楽器を活用して、市内の小学生で結成されたブラストです。

楽団員の丸田友博さんを指導者に、小学3~6年生14人で出発し、現在29人。今回、6年生8人が卒団の日を迎えました。当初は楽譜も読めず、楽器を触ったこともなかった子どもたちが、2年経ってこれまでにたくさんの演奏会に出演してきました。週に1度、2時間の練習はきつくてつらい日もあったかと思いましたが、多くの市民のみなさんが、子どもたちの演奏を聴いて、音楽の楽しさを知り、元気をもらいました。私から「卒団おめでとう」の言葉と併せて、「ありがとう」の言葉を、そして、これからも音楽を大切に、楽しんで有意義な中学校生活を送るよう、はなむけの言葉を贈りました。